

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターび〜と		公表日		令和7年3月	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	つい立て、仕切りを使ってクールダウンに用いている。 掲示物などを最小限にして、児童の気がちらないような工夫がされている。	異年齢児（3歳～6歳）の同じ空間は難しいと感じることがあり、構造化を検討している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	基準の職員数は配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	事業書内にあるもので工夫し障害の特性に応じたものを作っている。 構造化された環境を作れている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	空間を間仕切りして遊ぶ場・活動の場を分けている。 活動後の掃除・消毒を行っている。児童に合わせた空間となっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	物を置いていない。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	ミーティングで話会う機会を作り確認できている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		取り掛かれる課題に対しては、今後も早急に改善していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員面談やミーティング、日ごろの会話の中にある話を大切にしている。	ミーティングの進め方や意見の出やすい雰囲気を作る。出してもらった意見を大切に改善につなげるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	勤務調整等を行いできるだけ参加するようにしている。	ZOOMなどの会議は比較的に参加しやすいが、出張になると勤務調整が必要となるので参加しにくい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		現在作成中。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	日頃の子どもの様子を観察し保護者からの意見もしっかり反映されていると思う。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	個別計画が作成された後朝礼の時間等を利用して職員間で共通理解を行い支援している。 子どもの支援にかかわる職員間でも、日々変わった様子があれば報告、相談が行われている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員からの話を元に追加検討も反映されている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	アセスメントツールを参考に発達段階に応じた作成している。	アセスメントツールの見直しを検討している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	設定されている。 保護者にわかりやすい言葉で伝えられるように工夫している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	話し合いを行っている。	現在作成中。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	固定化しないように工夫を重ねている。	ネット等を活用し活動に必要な情報収集を行う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	個別活動と集団活動を適宜組み合わせてチームで検討し計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	役割分担の確認をしっかりと行っているが、その時の状況によって変更する場合もある。 朝・夕のミーティングや支援後に気になることがあった時には共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	振り返りを行い改善点を出し合い次につなげている。支援後に気になることがあった時には共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	記録として残している。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的にモニタリングを行い、計画書の適切な見直しを行えている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	参加できている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	現在医療ケアの必要な児童の利用はない	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	インクルージョン推進の観点から支援を行っている。情報交換を行い相互理解ができている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	必要な情報提供は行えている。	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	1	1	必要な連携は取れている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0	参加できている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0	参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	必要な場合は助言を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	地域のこども園でペアプロの開催を行った。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	連絡帳を通して共通理解をしている。 送迎時に気になることがあった時にはご家族に連絡をして共通理解を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	ペアプロを行っている。 保護者にチラシの配布・電話連絡を行いお知らせをしている。託児も行い参加しやすい環境を整えている。 ペアプロの参加がある。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時に説明を行っている。	支援プログラムは作成中。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	担当者会議等に参加し児童・ご家族の意向を確認できている。相談員とも連携し情報の共有を行っている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	行っている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	必要に応じお話を伺い迅速な対応を心がけている。	悩みがある場合相談に応じるが定期的かわからない。
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		今年度は定期的な保護者会の開催が出来なかったため保護者同士の情報交換ができるように計画的に行う。 家族と直接の意見交換の場が少ない。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	2	苦情があった場合には職員と共有し迅速な対応を心がけている。	迅速に対応できていないこともある。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2		月一回のお便りが出せず、遅れた月があった。 今後定期的に出していく。 今後SNSを利用公開できる範囲での発信を検討している（プライバシーに配慮した）
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	十分に行われている。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	見通しを持てるように絵カードやスケジュールを使用。 利用児の意思表示の仕方を職員が理解し、できるだけ伝えたい事をくみ取り、代弁していく。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	事業所のお祭りなどは開催していないが、地域に行事には事業所の駐車場を使ってもらうなど協力をさせてもらっている。	地域のお祭りなどには参加していきたい。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	研修を行っている。	各マニュアル等の説明は保護者にできていないので今後、契約や計画書の説明の際に一緒に行う。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	月一回の避難訓練を行っている。 (地震・火災)	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等の情報を聞いている。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	契約時にアレルギーの情報を聞いている。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画に基づいて事業所の点検等を行い安全に活動ができる環境を作り支援できている。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3	出来ていない。	契約時、計画の説明時に説明するように改善する。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットの情報を職員で共有して再発防止を考えることを行っている。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修に参加している。 研修を行い虐待についての理解と自分たちの支援の振り返りを行っている。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	必要な児童については計画書に記載して同意を得ている。	